

○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

分野目標① 安全・安心分野

◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未満

※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載
上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)
下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値
※下線: 後期基本計画策定にあたり、目標の見直しがあったもの

【安全・安心分野における方向性・目標】

防災・減災対策や防犯対策、交通安全、消費者保護に対する一人ひとりの意識の高揚や知識の普及を図るとともに、関係機関・団体等との連携と地域コミュニティの活性化を図り、顔の見える関係づくりに取り組むことにより、地域全体で守り、支え合う安全・安心なまちづくりを推進します。

また、防災・減災基盤や消防施設、交通安全・防犯施設等の計画的な整備や危機管理体制の強化等を推進するとともに、先端技術等を活用した見守りや情報収集・伝達、物資等の輸送、事故防止対策等を積極的に導入し、安全・安心な市民生活の確保を図ります。

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
1	1-1	自主防災組織の組織率 (%)	○	地域の防災の要となる組織を立ち上げることで、地域の防災力の向上につながるため。	防災安全課	基準値(H29)	78.0 %	84.0 % (進捗率) 13.0%	85.9 % (進捗率) 40.6%	令和7年度は、2つの自主防災組織が設立した。自主防災組織の未設置町内会への働きかけを年2回実施。町内会役員の高齢化等により、設立が難しい状況にあるが、災害発生時の自主防災組織の重要性について説明を行い、設置するよう働きかけを行う。
						現状値(R5)	83.1 %			
						目標値(R12)	90.0 %			
2	1-1	震災復興伝承館への来場者数(人)	▲	令和6年度の来場者数を46,000人と推定。毎年度、団体予約10団体(500人)増、その他の個人来館者500人増を目標に指標を設定した。	商工観光課	基準値(H29)	- 人	41,672 人 (進捗率) -50.2%	41,104 人 (進捗率) -58.4%	令和7年度は、団体数が229団体で過去最多となった一方、来館者数が減少した。年度末に展示コンテンツのリニューアルを行ったほか、3月に行った絵画企画展が好評につき期間延長し、実施した。引き続き令和8年度もコンテンツリニューアルを行い、情報発信やイベント企画等に取り組む。
						現状値(R5)	45,123 人			
						目標値(R12)	52,000 人			
3	1-1	災害時に備えた食料・飲料・避難グッズなどを備蓄している人の割合(%)	○	基準値は、H30に実施した市民意識調査問3の「食料、飲料、避難グッズなどを備蓄している」と答えた市民の割合とする。	防災安全課	基準値(H29)	57.1 %	63.8 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	63.8 % (進捗率) 0.0%	今後は、地域で行う防災訓練や講話などの防災イベントに参加して備蓄の必要性について周知するとともに、その際にアンケートを実施し、その結果を踏まえて事後の対策に反映させる。
						現状値(R5)	63.8 %			
						目標値(R12)	65.0 %			
4	1-2	備蓄食料・飲料水の備蓄率(%)	◎	災害への備えとして備蓄が必要であり、全壊・大規模半壊・帰宅困難者11,000人分の3日間の食料等を備蓄する。 基準値は、11,000食/66,000食×100=16.66%≒17.0%	防災安全課	基準値(H29)	17.0 %	110.5 % (進捗率) -19.3%	110.0 % (進捗率) -13.6%	必要な量を備蓄し、維持している。今後も、賞味期限切れ前に計画的に購入して目標数を維持するとともに、災害発生時や他自治体への緊急支援などにより使用した食料等については、速やかに補充して目標数を維持する。
						現状値(R5)	108.8 %			
						目標値(R12)	100.0 %			
5	1-2	全管路耐震率(水道)(%)	○	管路全延長:487,464m R6までの耐震管路更新延長:150,421m 残非耐震管路延長:337,043m 年耐震管更新延長:年間2,460m	水道事業所	基準値(H29)	22.7 %	30.8 % (進捗率) 25.6%	31.3 % (進捗率) 38.5%	災害に強い水道の実現と安全・安心で良質な水の安定供給に向けて、計画的に管路更新を実施してきた。その結果、令和7年度末の全管路耐震率は31.3%となった。引き続き更新計画に基づき管路の耐震化を進める。
						現状値(R5)	29.8 %			
						目標値(R12)	33.7 %			
6	1-2	応急資機材の整備箇所(箇所数)	○	すべての指定避難所に応急資機材一式の導入を図るもの。公的機関のほかに民間施設もあり、民間施設へも応急資機材の導入を促進していく。	防災安全課	基準値(H29)	29 箇所	29 箇所 (進捗率) 0.0%	29 箇所 (進捗率) 0.0%	全ての指定避難所において応急資機材一式を整備し、これを維持している。今後は、耐用年数或使用期間近の資機材を優先的かつ段階的に整備する。
						現状値(R5)	29 箇所			
						目標値(R12)	35 箇所			
7	1-3	消防水利の整備率(%)	◎	消火栓及び防火水槽の整備を進めていく必要があるため、指標に設定した。(1%の数値を上げるには閑散地区に水道管の敷設や防火水槽の設置が必要となる) 現有数/基準数1,261基(令和元年度基準数見直し)	消防本部	基準値(H29)	75.8 %	77.2 % (進捗率) 150.0%	77.7 % (進捗率) 400.0%	令和元年度に消防水利の基準数を見直し、基準数は1,261基。令和7年度末で現有数は980基。 令和7年度実態調査時にメッシュの見直しを実施し、北釜地区、飯野坂東部地区の開発等により設置した水利数が追加となり現有数が増となったもの。
						現状値(R5)	76.9 %			
						目標値(R12)	77.1 %			

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
8	1-3	救命講習普及に伴う受講者数(人)【累計】	○	市民相互の救助活動による救命率の向上等につながることから、救命講習受講者数の増加を図る必要があるため指標に設定した。 ・年間人口の約1%の受講者設定 ・年間780名程度の受講者を設定	消防本部	基準値(H29)	19,002 人	24,911 (1,097) 人 (進捗率) 21.2%	25,919 (1,008) 人 (進捗率) 40.6%	学校、保育施設、町内会等団体向けの講習は多く開催されているが、市民個人の参加は伸びていないため、認定資格取得できる定期講習会への市民個人の参加が増加するように、SNSやホームページ、広報に力を入れ応急手当の普及啓発を進める。
						現状値(R5)	23,814 人			
						目標値(R12)	29,000 人			
9	1-3	住宅用火災警報器の設置率(条例適合率)(%)	○	火災予防対策を推進していくため、主要施策においても設置促進に向けた取組を推進することを位置付けているため指標に設定した。	消防本部	基準値(H29)	61.0 %	73.5 % (進捗率) -134.7%	79.2 % (進捗率) -18.4%	令和7年度は前年度調査結果を上回ったが、目標値には届かない状態。今後も設置率向上のため、広報誌への掲載、春、秋祭りや防災講話などで、年1～2回の点検の必要性や、10年での交換が必要なことなどを広く市民に呼び掛ける。
						現状値(R5)	80.1 %			
						目標値(R12)	85.0 %			
10	1-4	街路灯設置箇所数(箇所)【累計】	○	交通安全・防犯対策という面で街路灯の設置は有効であることから指標に設定した。 考え方は、年度末における東北電力契約箇所数とした。(第五次長総時における数値設定の考え方を踏襲している。)	土木課	基準値(H29)	6,053 箇所	6,978 (96) 箇所 (進捗率) 19.0%	7,070 (92) 箇所 (進捗率) 37.3%	新設43箇所、愛島郷地区の開発に伴う帰属49箇所により、あわせて92箇所の増となった。街路灯の設置については、市全体で多数の要望があることから地域と調整を図り、年次計画的に進めて行く。
						現状値(R5)	6,882 箇所			
						目標値(R12)	7,386 箇所			
11	1-4	防犯対策に関する市民の満足度(%)	○	基準値は市民意識調査の「満足している」「どちらかといえば満足している」の割合とし、目標値として50%とする。	防災安全課	基準値(H29)	24.5 %	34.5 % R6、R7は調査実施せず	34.5 %	令和元年度より防犯カメラ設置事業補助金を実施している。令和7年度の実績は3団体(7台)。また、市内各地区防犯協会、名取市防犯協議会等と連携を図り、防犯対策に関する啓発活動などを行っている。今後も引き続き市民が安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して取り組む。
						現状値(R5)	34.5 %			
						目標値(R12)	50.0 %	(進捗率) 0.0%	(進捗率) 0.0%	
12	1-4	交通事故(人身)発生件数(件)	◎	交通事故の発生件数を減少させることが安全対策につながるため指標に設定する。	防災安全課	基準値(H29)	330 件	176 件 (進捗率) -7.3%	189 件 (進捗率) 24.4%	目標値達成水準となっている。引き続き交通安全運動の推進に努める。
						現状値(R5)	179 件			
						目標値(R12)	220 件			
13	1-5	消費者学習講座の受講者(人)	▲	消費者教育又は被害事例、被害防止策等を周知していくための取組として消費者学習講座は有効であり、その受講者が増加することで被害にあう市民の減少が期待できることから指標とした。 年度ごとに受講者を増加させる指標とする。	市民協働課	基準値(H29)	535 人	732 人 (進捗率) 168.3%	336 人 (進捗率) -161.7%	行政区長や福祉団体など参加者が多い団体からの講座依頼がなかったことから受講者減となった。今後も出前講座の開催のほか、広報なとりへの啓発的記事の例月掲載や、年2回の新聞折込など定期的な情報発信を継続し、市民の消費者教育に努める。
						現状値(R5)	530 人			
						目標値(R12)	650 人			

○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

分野目標② 保健・福祉・医療分野

◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未満

※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載
上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)
下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値
※下線: 後期基本計画策定にあたり、目標の見直しがあったもの

【保健・福祉・医療分野おける方向性・目標】

市民の主体的な健康づくり活動を促進し、疾病の発症・重症化を予防するとともに、地域医療体制の強化や自分らしく安心して過ごすことができる居場所の創出等を図り、心身の健康の確保につなげます。

また、保健福祉サービスの提供体制の充実に加え、保健・医療・福祉をはじめ各分野が連携しながら、包括的な支援がなされる体制の充実に努めるとともに、多様な主体が担い手となり、支え合う地域づくりを進めることにより、希望する結婚・出産の実現や子育てしやすいまちづくり、障がいの有無、年齢、家庭環境等にかかわらず自分らしく生きることを実現できる社会の形成を目指します。

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
14	2-1	国民健康保険被保険者の 特定健康診査受診率(%)	▲	第3期保健事業実施計画(データヘルス計画) における目標値に合わせ60%の最終目標を設定した。	保険年金課 (保健センター)	基準値(H29)	48.7 %	50.5 %	49.4 %	令和7年度は集団健診の実施時期について、8月を避け、その分10月を増やし、暑さ対策を行った。また、国保連が行う特定健診受診率向上支援事業に引き続き参加し、AIを活用した受診勧奨を行い受診率向上を図った。コロナ禍の揺り戻しにより、ここ数年度は受診率が上昇傾向だったが、コロナ禍前に戻りつつあるため受診率が低下したとみえる。令和8年度は受診率向上支援事業において、通知内容を工夫し受診率向上に繋げる。
						現状値(R5)	51.2 %			
						目標値(R12)	60.0 %	(進捗率) -8.0%	(進捗率) -20.5%	
15	2-1	国民健康保険被保険者の 特定保健指導実施率(%)	◎	第3期保健事業実施計画(データヘルス計画) における目標値に合わせ60%の最終目標を設定した。	保健センター	基準値(H29)	46.9 %	55.9 %	61.1 %	令和7年度は、オンライン(希望者)による保健指導を実施(委託)し希望者は殆どいなかったが、訪問不在者は、二次元コード付の手紙を送付する等の工夫を行った。令和8年度は、訪問以外にも来所の機会を設定する予定。
						現状値(R5)	51.1 %			
						目標値(R12)	60.0 %	(進捗率) 53.9%	(進捗率) 112.4%	
16	2-1	メタボリックシンドローム該 当者・予備群の割合(%)	▲	第3期保健事業実施計画(データヘルス計画) における目標値に合わせ30.4%の最終目標を設定した。	保健センター	基準値(H29)	33.6 %	34.6 %	34.8 %	特定健診受診の結果、メタボ該当・予備群の方に保健指導を実施。メタボ該当・予備群の割合は全国と比べ高く、中でも特に高血糖が多い。令和7年度は、25～39歳のメタボ(特定保健指導に準ずる方)へ健診当日の初回面接を実施し、ほぼ全員が保健指導を受けた。メタボが原因となり、脳・心臓の血管疾患や糖尿病合併症など大きな病気につながらないよう、予防的視点で保健指導に取り組む。
						現状値(R5)	34.0 %			
						目標値(R12)	30.4 %	(進捗率) -16.7%	(進捗率) -22.2%	
17	2-1	肺がん検診受診率(%)	▲	がん検診の受診率向上により、早期発見・早期治療につなげ死亡率の低下につながるよう指標に設定。死亡率の高い肺がんを指標に設定。最終目標の50.0%は国の計画である第3期がん対策推進基本計画に合わせて設定している。	保健センター	基準値(H29)	37.1 %	33.0 %	31.4 %	病院での個別健診受診者が増加傾向にあり、集団健診でのみ実施している肺がん検診の受診者が減少。昨年に続き集団健診の「結核・肺がん検診のみ」の日程を広く周知し、受診率向上に努める。
						現状値(R5)	34.0 %			
						目標値(R12)	50.0 %	(進捗率) -6.3%	(進捗率) -16.3%	
18	2-1	大腸がん検診受診率(%)	▲	がん検診の受診率向上により、早期発見・早期治療につなげ死亡率の低下につながるよう指標に設定。数あるがん検診の中から、死亡率の高い大腸がんを指標に設定。最終目標の50.0%は国の計画である第3期がん対策推進基本計画に合わせて設定している。	保健センター	基準値(H29)	40.3 %	38.0 %	38.1 %	令和7年度も胃がん検診や特定健診との同日実施、さらに追加検診を行ったほか、保健センターでの提出開始時間を前年度の7:30から7:00に拡充した。令和8年度も提出しやすい時間帯に変更し、受診率向上に努める。
						現状値(R5)	39.1 %			
						目標値(R12)	50.0 %	(進捗率) -10.1%	(進捗率) -9.2%	
19	2-1	自殺死亡率(10万人対)	▲	最終目標の13.6%は令和6年3月に策定した「健やかなとり21 自死対策計画(第2次)」に合わせて設定している。 算出方法は、自殺者数/人口×100,000	保健センター	基準値(H29)	22.1 ^{10万人対}	17.9 ^{10万人対}	18.9 ^{10万人対}	ゲートキーパー研修、ホームページ掲載、図書館展示等の自死予防の啓発を実施。推移は以前の水準に戻りつつあるが昨年比微増である。今後も動向を注視し、生活困窮や孤独等の問題について関係機関と課題を共有し、対策を検討していく。
						現状値(R5)	17.4 ^{10万人対}			
						目標値(R12)	13.6 ^{10万人対}	(進捗率) -13.2%	(進捗率) -39.5%	

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
20	2-2	定期予防接種率(%)	▲	感染症のまん延予防の視点から、各予防接種の平均を指標と設定した。目標値においては、各予防接種の指針において95%を目標値に掲げられていることから、それにあわせ95%と設定した。	保健センター	基準値(H29)	94.0 %	90.3 % (進捗率) -123.8%	90.2 % (進捗率) -128.6%	令和6年度よりも接種率が下がり、目標値までは達していない。引き続き、接種勧奨を行い接種率向上に努めていく必要がある。
						現状値(R5)	92.9 %			
						目標値(R12)	95.0 %			
21	2-2	医療体制の充実に関する市民の満足度(%)	○	基準値は、平成30年実施の市民満足度調査の結果としている。目標値は令和5年に実施した市民意識調査の結果から5%の向上を目指す。	保健センター	基準値(H29)	28.5 %	34.8 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	34.8 % (進捗率) 0.0%	医療体制の充実・向上につながるよう地域医療と連携を密にする。
						現状値(R5)	34.8 %			
						目標値(R12)	39.8 %			
22	2-3	地域共生社会の実現には、住民と行政の協力が必要であると考える住民の割合(%)	○	令和元年度策定の地域福祉計画の市民アンケートの調査結果を指標に設定。基準値は、その回答結果。この指標の住民割合を上昇させることが、地域共生社会の実現に近づくと思定し設定している。	社会福祉課	基準値(H29)	57.9 %	56.3 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	56.3 % (進捗率) 0.0%	令和7年度は令和6年度に引き続き、関係各課において、関係機関と連携協力しながら、高齢者や障害者福祉の充実など各施策に取り組んだ。
						現状値(R5)	56.3 %			
						目標値(R12)	59.3 %			
23	2-4	待機児童数(人)	◎	地方創生総合戦略においても待機児童数の減少を数値目標に掲げており、待機児童が解消されていないことから、待機児童数の減少を成果指標に設定する。	こども支援課	基準値(H29)	43 人	14 人 (進捗率) -	0 人 (進捗率) -	令和7年4月1日時点において、入所申込の増加(年齢区分毎やさぽーとぷらす児童の増)により14人の待機児童が発生したものの、令和8年4月1日時点(速報値)においては、利用定員の弾力的な運用や保育施設の整備、受入枠の拡大等に取り組み、待機児童数0人になる見込みとなった。
						現状値(R5)	0 人			
						目標値(R12)	0 人			
24	2-4	乳児のいる家庭の実態把握(生後4か月まで)(%)	◎	虐待予防・早期発見の視点から生後4ヶ月の新生児に全数把握をすることで、適切な支援につなげる。目標としては現状維持。	保健センター	基準値(H29)	100 %	100.0 % (進捗率) 100.0%	100.0 % (進捗率) 100.0%	出生連絡票の提出を確認後、家庭訪問を実施している。出生連絡票の提出方法は、従来のハガキのほか、電子申請を導入した。未提出は61件あったが、電話確認を行い家庭訪問を実施した。里帰り出産等は他市町村へ依頼し、全数把握することができている。
						現状値(R5)	98.9 %			
						目標値(R12)	100 %			
25	2-4	子育てに関する市民の満足度(%)	○	子育て支援については、数値が表れにくい分野であり、成果指標として満足度とすることが分かりやすい。基準値はH30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	こども支援課	基準値(H29)	17.2 %	23.9 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	23.9 % (進捗率) 0.0%	令和7年3月付けで発行した「第3期名取市子ども・子育て支援事業計画」に基づいて利用状況や潜在的な利用ニーズの把握、計画の進捗状況の管理を行い、子育てに関する市民の満足度向上につなげる。
						現状値(R5)	23.9 %			
						目標値(R12)	28.9 %			
26	2-4	中高生が保育所や児童センターなどにおいて、子どもとふれあう機会(人)	◎	中学生の職場体験を受け入れた生徒の人数を指標とする。現状値(R5)の実績継続して受け入れ、次代の親の育成支援に努めていく。	こども支援課	基準値(H29)	— 人	3,849 人 (進捗率) 128.3%	4,042 人 (進捗率) 134.7%	中高生の居場所として定着しつつあり、利用者が増加している。
						現状値(R5)	3,000 人			
						目標値(R12)	3,000 人			
27	2-5	子どもの貧困対策計画の策定及び推進	◎	関係機関の連携体制を構築する手段のひとつとして計画を策定し、推進する。	こども支援課	基準値(H29)	—	策定済	推進	第3期名取市子ども・子育て支援事業計画に内包する形で令和7年度からの5か年計画を策定し推進中である。
						現状値(R5)	策定中			
						目標値(R12)	推進			
28	2-6	通いの場、高齢者ふれあいサロンあがらいん、高齢者生きがいづくり支援事業への参加者数(人)	○	介護予防に取り組んでいる人数を把握できることから、指標に設定した。	介護長寿課	基準値(H29)	20,279 人	32,689 人 (進捗率) 89.6%	32,357 人 (進捗率) 83.6%	通いの場(28団体)、高齢者ふれあいサロン(9団体)、高齢者生きがいづくり支援事業(24団体)の支援を行った。今後も活動が継続されるよう、理学療法士・作業療法士の派遣や助成金の交付など、引き続き支援を行う。
						現状値(R5)	27,698 人			
						目標値(R12)	33,270 人			
29	2-7	障害福祉サービスの利用者の一般就労移行者数(人)	◎	市民意識調査の結果においても、障がい者福祉に力を入れるべき施策として、一般就労への移行支援等があげられている。障がい者が一般就労へ多く移行することで、障がい者への理解や地域全体で支え合う意識の醸成につながるものであるため指標に設定した。	社会福祉課	基準値(H29)	5 人	12 人 (進捗率) 300.0%	12 人 (進捗率) 300.0%	令和7年度は具体的な取組はないが、先進事例や他市町村の取組みについて調査・研究を行う。
						現状値(R5)	9 人			
						目標値(R12)	10 人			

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
30	2-7	障がい者福祉の充実に関する市民の満足度(%)	○	障がい者福祉については、数値が表れにくい分野であり、成果指標として満足度とすることが分かりやすい。 令和5年に実施した市民意識調査の結果から5%の向上を目指す。	社会福祉課	基準値(H29)	12.6 %	16.0 %	16.0 %	令和8年度中に「名取市障害者計画(R9年度～R14年度)」を策定するため、市民、障がい当事者にアンケートを実施している。引き続き令和8年度中の策定に向けて取り組む。
						現状値(R5)	16.0 %			
						目標値(R12)	21.0 %	R6、R7は調査実施せず		
31	2-8	国民健康保険税の現年度収納率(%)	▲	国民健康保険制度の円滑な運営を図るには、保険税を納めてもらう必要があるため指標に設定。 第3期宮城県国民健康保険運営方針に基づく目標値の維持を目標とする。	保険年金課	基準値(H29)	92.55 %	94.71 %	94.17 %	督促催告書の発送により、早期納付に向けて取り組んだ。滞納整理については、個々の事情を勘案しながら納付計画の相談に応じた。適正な滞納整理の実施、口座振替の推進、納付環境の整備等を今後も継続していき、収納率向上に取り組む。
						現状値(R5)	95.00 %			
						目標値(R12)	95.90 %	(進捗率) -32.2%	(進捗率) -92.2%	
32	2-8	後期高齢者医療保険料の現年度収納率(%)	▲	後期高齢者医療制度の円滑な運営を図るには、保険料を納めてもらう必要があるため指標に設定。 景気動向等により目標値を設定することは困難であるが、広域連合から示されている数値の維持を目標値と設定。	保険年金課	基準値(H29)	99.45 %	99.53 %	99.36 %	個別訪問や電話勧奨等を通じて、個々の事情を勘案しながら納付計画の相談に乗る等、保険料の納付に結び付ける対策を取った。今後も、上記の取組を行いつつ、普通徴収の口座振替勧奨などを含め、納付に結びつける対策を取り、収納率向上に取り組む。
						現状値(R5)	99.45 %			
						目標値(R12)	99.45 %	(進捗率) 100.1%	(進捗率) 99.9%	
33	2-8	介護保険料収納率(%)	◎	介護保険制度の円滑な運営を図るには、保険料を納めてもらう必要があるため指標に設定。 介護保険制度についての普及啓発に努める。	介護長寿課	基準値(H29)	99.15 %	99.62 %	99.57 %	督促、催告書の送付や電話による納付勧奨、訪問による滞納者へのアプローチを継続し取り組んだ。滞納整理を実施し個別に納付相談を行った。普通徴収者への口座振替の推進についても引き続き進めていく。令和8年度は年金支給月の8月と10月に、課全体で訪問による滞納整理を実施する。
						現状値(R5)	99.52 %			
						目標値(R12)	99.53 %	(進捗率) 1000.0%	(進捗率) 500.0%	

○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

分野目標③ 産業振興・就労分野

◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未満

※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載
上段 :当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)
下段()書き:当該年度(単年度)の実績値
※下線:後期基本計画策定にあたり、目標の見直しがあったもの

【産業振興・就労分野における方向性・目標】

各種産業の生産・経営基盤の強化支援を図りつつ、多様な連携による新しい価値の創出やブランド力の強化、立地優位性を生かした企業誘致、起業支援等を進めるとともに、AIやIoT等の先端技術の活用支援や観光誘客など時代潮流に対応した取り組みを推進し、競争力の高い産業の育成と雇用の創出を図ります。

また、鉄道や高速道路、空港等の交通基盤や豊かな自然環境、有形無形の文化財等の地域資源のさらなる活用とその魅力の効果的な発信を図り、観光振興や中心市街地の活性化につなげることで交流人口の拡大を図り、人々が行き交う賑わいのあるまちづくりを推進します。

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
34	3-1	認定農業者数(経営体) 【累計】	▲	認定農業者を指標として設定し、農業従事者を確保する施策を展開していく。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値(H30)	153 経営体	143 経営体 (△7) (進捗率) -23.3%	149 経営体 (6) (進捗率) -3.3%	高齢等により認定農業者の更新停止による減もあるが、新規で認定農業者になった人が増えたことにより、認定農業者数は増加した。今後の農業施策及び認定新規就農者から認定農業者への切替者数の増加を視野に入れた経営体支援策を推進する。
						現状値(R5)	150 経営体			
						目標値(R12)	180 経営体			
35	3-1	担い手への農地の集積面積(ha)	▲	担い手が耕作している農地(自作、賃貸借、作業委託)の面積合計を指標として設定。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値(H30)	1,565 ha	1,754 ha (進捗率) -89.2%	1,739 ha (進捗率) -100.8%	前年度に比べ、集積面積は減少となったが、高齢化によるリタイア、経営転換等により、地域の担い手への集積は進むものと考えられる。今後、作業の効率化を図る取組や担い手・経営体の育成支援策を進める。
						現状値(R5)	1,870 ha			
						目標値(R12)	2,000 ha			
36	3-1	ほ場整備率(%)	○	市内の田を30ha区画以上で整備した割合を指標として設定。	農林水産課	基準値(H29)	77 %	79 % (進捗率) 0.0%	79 % (進捗率) 0.0%	震災復興に係る大区画ほ場整備事業の換地処分も令和4年度で終了し、今後、新規のほ場整備実施予定区域が2か所あることから整備割合も増加するものと判断する。
						現状値(R5)	79 %			
						目標値(R12)	81 %			
37	3-1	農業法人(法人数)【累計】	○	組織体制の強化を課題としてあげていることから、指標として設定し、安定的で収益性の高い農業経営を支援及び担い手の確保をできる施策を展開していく。(基準値は平成30年度末)	農林水産課	基準値(H30)	10 法人	21 法人 (0) (進捗率) 0.0%	21 法人 (0) (進捗率) 0.0%	令和7年度において新規の法人設立はなかったが、複数の認定農業者が組織化する状況や一戸一法人(家族経営等)化、そして新規法人が農業へ参入する状況が今後も継続するものとみている。
						現状値(R5)	21 法人			
						目標値(R12)	25 法人			
38	3-2	林業就業者数(人)【累計】	○	適正に管理されていない森林の適正な管理を市で行うようになり、林業に従事する方々を増やしていきたいと考えていることから、指標に設定。林業就業者については、4年に一回の農林業センサスのみで把握が可能。基準値はH27の農林業センサスとしている。	農林水産課	基準値(H27)	6 人	6 人 (0) R6、R7は調査実施せず	6 人 (0)	就業に繋がるよう、宮城県等が実施する就業支援制度等の情報収集を行う。
						現状値(R5)	6 人			
						目標値(R12)	8 人	(進捗率) 0.0%	(進捗率) 0.0%	
39	3-3	閑上漁港水揚量(t)	▲	1年間の水揚量の総数量を指標とする。県統計においては暦年となっているためあわせることとする。(わかめの養殖は令和2年度で終了したため、わかめ分を除いて目標値を再設定した。)	農林水産課	基準値(H29)	182 t	116 t (進捗率) -46.5%	129 t (進捗率) -28.2%	令和7年の水揚量は、赤貝が35t、しらすが76tで、2魚種で全体の約86%を占めている。わかめについては、閑上わかめ組合が収益につながらないことから事業中止決定したため、新たな魚種の漁獲等について情報収集を行う。
						現状値(R5)	149 t			
						目標値(R12)	220 t			
40	3-4	製造品出荷額(年額)(億円)	▲	地域経済の活性度を計る上では、売上額をもって判断するのが妥当であり、製造品出荷額がそれに相当するものであるため指標に設定した。基準値の2割増を目標に設定している。基準はH29工業統計調査(市町村別より)	商工観光課	基準値(H29)	897 億円	790 億円 (進捗率) -107.2%	883 億円 (進捗率) -39.9%	名取市商工会と連携し各種支援施策の周知に努める。なお、R4から工業統計調査は経済構造実態調査に包摂され「製造業事業所調査」として実施されている。
						現状値(R5)	938 億円			
						目標値(R12)	1,076 億円			

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
41	3-4	新製品の開発件数(件) 【累計】	○	基準値は地方創生総合戦略の進捗状況に合わせた。 毎年1件の新商品開発を見込み算出している。	商工観光課	基準値(H29)	7 件	8 (0) 件 (進捗率) 0.0%	9 (1) 件 (進捗率) 8.3%	令和7年度は産学官連携事業5事業に取り組み、そのうち商品開発1件が完成に至った。5事業は次年度の継続実施が予定されている。
						現状値(R5)	8 件			
						目標値(R12)	20 件			
42	3-5	観光客入込数(人)	○	かわまちてらす閑上、トレイルセンター、サイクルスポーツセンターの想定実績を加味して推計している。	商工観光課	基準値(H29)	833,556 人	1,595,548 人 (進捗率) 14.0%	1,736,011 人 (進捗率) 42.4%	夏まつりの来場者数増加のほか、なとりぱーくの開業などにより、令和6年より増加となった。引き続き観光誘客に向けた取組を推進し、さらなる入込数の拡大を図る。
						現状値(R5)	1,526,614 人			
						目標値(R12)	2,020,000 人			
43	3-6	新規の起業件数(件)【累計】	○	働く場の創出を重点政策に掲げていることから、チャレンジショップやその他の制度の活用による新規起業数を指標に設定。 目標については、チャレンジショップ事業が毎年1件活用されると想定し算出している。	商工観光課	基準値(H29)	1 件	13 (2) 件 (進捗率) 28.6%	16 (3) 件 (進捗率) 71.4%	令和7年度は新規創業者3件のチャレンジショップ事業補助金活用があった。今後も名取市商工会と連携し、事業に取り組んでいく。
						現状値(R5)	11 件			
						目標値(R12)	18 件			
44	3-6	企業立地件数(名取市企業立地促進条例に基づく指定企業許可件数)(件)【累計】	○	市内への企業立地が進むことで、地域雇用が確保され、市内への居住者も増加し、地域経済の活性化につながるため指標に設定した。 R2以降、市内産業用地への進出企業が増加したことに伴い、R2年度以降の平均伸び率で目標値を算出。	商工観光課	基準値(H29)	33 件	50 (2) 件 (進捗率) 7.1%	53 (3) 件 (進捗率) 17.9%	閑上東地区の誘致が堅調であるほか、愛島西部工業団地(第2期)での企業立地も本格的になり、令和7年度は名取市内に立地するパナソニック仙台工場内での新規企業立地も見られた。引き続き地域雇用につながる企業の誘致に努める。
						現状値(R5)	48 件			
						目標値(R12)	76 件			
45	3-7	立地企業の被雇用者数(人)【累計】	○	市内への企業立地が進むことで、地域雇用が確保され、市内への居住者も増加し、地域経済の活性化につながるため指標に設定した。 H29基準値からR5実績値の平均伸び率から目標値を算出。	商工観光課	基準値(H29)	1,454 人	1,912 (0) 人 (進捗率) 0.0%	2,139 (227) 人 (進捗率) 29.1%	調査対象企業数は前回比で7社増加しており、全体の雇用者数は増加傾向にある。目標値に達するよう、引き続き地域雇用につながる企業の誘致に努める。
						現状値(R5)	1,912 人			
						目標値(R12)	2,691 人			

○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

分野目標④ 教育・文化・スポーツ分野

◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未満

※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載
上段 :当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)
下段()書き:当該年度(単年度)の実績値
※下線:後期基本計画策定にあたり、目標の見直しがあったもの

【教育・文化・スポーツ分野おける方向性・目標】

質の高い学校教育の推進はもとより、地域資源を活用し、時代の変化に対応した特色ある教育の推進や、家庭・地域における教育力の向上及び多様な主体の連携による教育体制の強化を図り、子どもたちの「※生きる力」を育み、次代を担い、活躍する人材を育てます。

また、市民一人ひとりの興味、関心に応じた生涯学習及び文化芸術、スポーツ活動の振興に取り組むとともに、地域に伝わる伝統文化の継承や貴重な文化財の保存・活用を図り、歴史文化が息づくまちづくりを推進します。

※「生きる力」・・・変化の激しい社会を生きるために必要な「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」を指す。学習指導要領において、この知・徳・体をバランスよく育てることが「生きる力」になっている。

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
46	4-1	国語・算数の授業内容がよく分かれると答えた児童の割合(小学6年生)(%)	▲	全国学力・学習状況調査の児童自らが答える質問事項において、よく分かれると答えた児童の割合を指標とする。 【H30実績】国語:87.4%、算数86.3%の平均を基準値に設定。	学校教育課	基準値(H29)	86.9 %	83.8 % (進捗率) 16.9%	79.3 % (進捗率) -33.7%	昨年度より4.5ポイント減となった。前年度値の83.8%までの回復を目指し、基礎・基本の定着に努めるとともに、児童が分かる授業づくりのために校内研究に注力する。
						現状値(R5)	82.3 %			
						目標値(R12)	91.2 %			
47	4-1	国語・数学・英語の授業内容がよく分かれると答えた児童の割合(中学3年生)(%)	▲	全国学力・学習状況調査の生徒自らが答える質問事項において、よく分かれると答えた生徒の割合を指標とする。 【H30実績】国語:79.6%、数学:72.1%、英語:68.2%の平均を基準値に設定。	学校教育課	基準値(H29)	73.3 %	80.9 % (進捗率) 263.6%	68.6 % (進捗率) -854.5%	昨年度より12.3ポイントの大幅減となった。国語、数学ともに分かれると答えた生徒数が減少している。各校へ現状を伝えるとともに、基礎・基本の定着と生徒が分かる授業づくりのために校内研究に注力する。
						現状値(R5)	78.0 %			
						目標値(R12)	79.1 %			
48	4-2	校舎等大規模改造実施学校(校)【累計】	○	老朽化した校舎等の大規模改造の実施した校数を指標とした。	教育総務課	基準値(H29)	7 校	10 校 (1)	10 校 (0)	名取市学校施設長寿命化計画に基づき、令和6年度に不二が丘小学校の大規模改造工事(R5～R6)を実施し完了しており、令和7年度は事業の実施は無かった。今後は、残りの4校およびすでに改修工事を実施した学校についても、老朽化の状況等を確認し、必要に応じて実施計画に計上する。
						現状値(R5)	9 校			
						目標値(R12)	14 校			
49	4-2	学校教育環境の充実に関する市民の満足度(%)	○	満足度を指標とすることで、学校教育環境の施策全体での評価が見えるため指標として設定。令和5年に実施した市民意識調査の結果から5%の向上を目指す。	学校教育課	基準値(H29)	27.4 %	26.8 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	26.8 % (進捗率) 0.0%	目標値である31.8%の達成を目指し、各学校にて教育活動に取り組む。
						現状値(R5)	26.8 %			
						目標値(R12)	31.8 %			
50	4-3	地域学校協働活動への参画者数(人)	○	各小・中学校区に地域学校協働本部を設置し、地域学校協働活動を推進していく。令和6年度推計値18,000人から約10%増の20,000人を最終目標とする。	生涯学習課	基準値(H29)	— 人	18,130 人 (進捗率) 34.3%	19,071 人 (進捗率) 67.4%	全15学校区に協働本部を設置し、地域学校協働活動を実施。各本部で、地域の特色を生かした様々な活動を展開している。市として、広報なとりで活動の様子を毎月市民に周知し、市民への認知度向上と、ボランティアへの参画に繋がるよう支援を継続していく。
						現状値(R5)	17,154 人			
						目標値(R12)	20,000 人			
51	4-4	図書館入館者数(人)	○	図書館の評価手段として貸出冊数、貸出者数、登録者数、入館者数等がある。貸出冊数は前期において達成することが出来た。次のステップとして、貸出冊数を考慮しつつ図書館で読む、調べる、学ぶ、集う、育む視点から、入館者数が望ましいと捉え、現状値(R5)285千人、最終目標を1割増の320千人で設定した。	図書館	基準値(H29)	— 人	305,583 人 (進捗率) 58.3%	318,704 人 (進捗率) 96.3%	図書館友の会など、学校等と連携し読書推進活動を行った。また、座席数も102席から151席に増設し学習環境の整備を図った結果、入館者が1万人以上増えた。引き続き、地域を支える知の拠点施設として継続して取り組む。
						現状値(R5)	285,387 人			
						目標値(R12)	320,000 人			

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
52	4-4	マナビィ講師等派遣数(回)	○	学習機会の拡充と支援を計るうえで、マナビィ講師等の派遣数が適していることから、第五次長総に引き続き成果指標に設定する。令和6年度以降の伸びを年10回増と推定し、令和12年度目標値を320回と設定する。	生涯学習課	基準値(H29)	156 回	266 回 (進捗率) 41.9%	291 回 (進捗率) 68.8%	マナビィ講師派遣事業のPR冊子「マナビィガイドブック」及び「マナビィ通信」の発行を継続し、前年度から堅調に増加した。引き続き、各種イベントにおいてガイドブックを配布するなどの周知を図り、市民からの関心が高まるように努める。
						現状値(R5)	227 回			
						目標値(R12)	320 回			
53	4-4	生涯学習経験者の割合(%)	○	生涯振興計画と同様の指標を設定。令和6年に実施した生涯学習市民意識調査の結果から5%の向上を目指す。	生涯学習課	基準値(H29)	64.5 %	59.6 % R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	59.6 % (進捗率) 0.0%	令和6年度に市民意識調査を実施。次回は令和12年度に調査実施予定。
						現状値(R6)	59.6 %			
						目標値(R12)	65.0 %			
54	4-5	社会体育事業の対象者及び参加者数(人)	○	参加者数でスポーツの振興及び普及を図られたと捉えることができるため指標とした。年間200人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	9,414 人	7,498 人 (進捗率) 9.5%	7,842 人 (進捗率) 16.4%	コロナ禍の影響により、以前の水準には戻っていないが徐々に回復はしてきている。出前講座によるニュースポーツの普及事業などは、参加者数を増やすことができた。今後も多くの市民がスポーツに触れることができるよう環境整備を推進する。
						現状値(R5)	7,028 人			
						目標値(R12)	12,000 人			
55	4-5	体育施設利用者数(人)	▲	体育施設利用者数でスポーツの振興及び普及を図られたと捉えることができるため指標とした。年間3,000人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	416,557 人	435,457 人 (進捗率) -399.1%	410,540 人 (進捗率) -1035.3%	令和7年度は有料施設において、クマ出沒による利用制限やイベントによる利用減もあり、昨年度利用者数を下回った。令和5年11月から利用を中止している2施設(増田、高館体育館)については、令和8年度に解体し、施設整備方針の中で今後の在り方について検討していく。
						現状値(R5)	451,084 人			
						目標値(R12)	455,000 人			
56	4-5	スポーツ環境の充実に関する市民の満足度(%)	○	満足度を指標とすることで、スポーツ分野の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	15.3 %	18.8 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	18.8 % (進捗率) 0.0%	スポーツ協会とも連携を図りながら、スポーツ教室等を引き続き実施し、市民がスポーツに触れる機会の提供やスポーツを通じた健康づくり推進、コミュニティ活動の活発化を図る。
						現状値(R5)	18.8 %			
						目標値(R12)	23.8 %			
57	4-5	スポーツ協会加盟者数(人) 【累計】	▲	スポーツ協会加盟者数でスポーツ振興及び普及を図られたと捉えることができるため指標とした。年間100人の増加と見込み指標を設定した。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	5,072 人	5,004 (△188) 人 (進捗率) -20.7%	4,792 (△212) 人 (進捗率) -44.1%	減少の要因としては、新規の協会加入団体が無いこと及び、既存の協会員の高齢化や、それに伴う脱会があげられる。今後は、スポーツ協会を通じ各単位協会への活動を支援し、会員の拡充に努める。
						現状値(R5)	5,192 人			
						目標値(R12)	6,100 人			
58	4-6	文化協会加入団体数(団体) 【累計】	◎	文化協会加入団体数で文化振興及び普及を図られたと捉えることができるため指標とした。生涯学習振興計画においても同様の指標を設定している。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	35 団体	29 団体 (1) 団体 (進捗率) 100.0%	29 団体 (0) 団体 (進捗率) 100.0%	令和7年度における増はなかった(新規加入4団体、退会4団体)。協会への加入促進について、広報や市ホームページに掲載するほか、各公民館にも協会の活動や加入を案内するチラシを配布するなど積極的な周知を行うことで団体数の確保に努めるとともに、本市の文化・芸術の裾野を広げるため、「なとり文化芸術祭」の開催など日頃の成果を発表する機会の提供に努める。
						現状値(R5)	28 団体			
						目標値(R12)	29 団体			
59	4-6	文化会館自主事業入場者数(人)	○	文化会館自主事業入場者数で文化の振興及び普及を図られたと捉えることができるため指標とした。あくまで、主催・共催事業の入場者のみ掲載する。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	29,850 人	30,566 人 (進捗率) -24.0%	30,870 人 (進捗率) 62.9%	令和6年度と比べるとほぼ同数となっている。今後も文化芸術に触れる機会の創出に努める。
						現状値(R5)	30,650 人			
						目標値(R12)	31,000 人			
60	4-6	文化・芸術環境の充実に関する市民の満足度(%)	○	満足度を指標とすることで、文化振興分野の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	18.8 %	21.5 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	21.5 % (進捗率) 0.0%	文化会館を拠点に、文化芸術に関する質の高い事業を活発に行っている。引き続き、市民が文化芸術活動に取り組める環境づくりに努める。
						現状値(R5)	21.5 %			
						目標値(R12)	26.5 %			

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
61	4-7	指定(登録)文化財の件数 (件)【累計】	○	指定・登録文化財は歴史文化遺産の保存・継承の基本的な施策であり、その件数の拡充は定量的な把握が可能であるため指標とした。最終では基準値の10%増とした。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	56 件	56 (0) 件	56 (0) 件	令和7年度に具体的に指定・登録された物件はない。以前、文化財保護審議会で審議した候補物件(2件)の土地所有者への意向確認等を進めたが、依然として連絡がつかず確認できていない方がいる。今後も確認方法を工夫し確認を続けつつ、可能なものから指定・登録を進めていく。また、市史編さん事業と連携した調査で見つかったものも視野に入れ、新たな候補選定や情報収集を行っていく。
						現状値(R5)	56 件			
						目標値(R12)	62 件	(進捗率) 0.0%	(進捗率) 0.0%	
62	4-7	文化財資料等を活用した人数及び事業への参加者数 (人)	◎	資料閲覧・借利用者数+施設利用者数+文化財案内等の事業参加者数とする。基準値は1,672人-歴史展来場者数1,042人を引いた人数と設定し、最終は10%増とした。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	630 人	866 人	698 人	令和7年度の実績は、資料調査・利用等が計282人、(資料館を除く)施設利用者が416人の計698人であった。施設利用では、旧中沢家住宅の4月～11月の一般開放は、クマ出没の影響により、昨年度より135人の来訪者減となった。令和8年度も、例年通り4月～11月の一般開放を行うほか、クマ対策として忌避グッズ等の設置、資料館等イベント等に絡めた中沢家の積極的活用や、市内教育機関への周知を進め、利用促進に努める。
						現状値(R5)	750 人			
						目標値(R12)	693 人	(進捗率) -203.5%	(進捗率) 91.2%	
63	4-7	歴史文化遺産の保護に関する市民の満足度(%)	○	満足度を指標とすることで、歴史文化遺産の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	15.6 %	22.1 %	22.1 %	令和7年度も、文化財保護の拠点施設である歴史民俗資料館において、常設展示や各種講座、体験学習、イベント等を実施したほか、市内小学校6年生を対象とした訪問学習を実施し、歴史文化遺産への理解促進及び市民満足度の向上に努めた。令和8年度は、昨年度作成した古墳ブックなどを活かした歴史文化遺産の周知や、雷神山古墳整備基本計画策定の着手など、市を代表する史跡の保全や環境整備なども進め、市民満足度の向上に繋げていく。
						現状値(R5)	22.1 %			
						目標値(R12)	27.1 %	(進捗率) 0.0%	(進捗率) 0.0%	
64	4-7	歴史民俗資料館の利用者数(人)	○	歴史文化遺産の保存・活用の拠点として整備を行う施設であり、その利用者数の多寡が総体的な満足度へ反映されていくと想定し指標とした。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	— 人	9,678 人	9,756 人	企画展、各種イベントや体験・学習活動を、ボランティア等とも協力しながら工夫して実施し、昨年度の利用者は上回ることが出来た。今後も創意工夫し、市民等の参加協力を得ながら、積極的活用を図り、目標値以上の利用者確保に努める。
						現状値(R5)	9,243 人			
						目標値(R12)	10,195 人	(進捗率) 45.7%	(進捗率) 53.9%	
65	4-7	歴史や文化財に関するボランティアガイド数(人)	▲	歴史文化遺産の保存・活用の満足度の向上のためには、市民参加や地域との連携が重要である。H30よりその育成をしていることから指標として設定した。	文化・スポーツ課	基準値(H29)	— 人	28 人	25 人	令和7年度は新規の募集で3名増となったが、通常の退会や年度末の登録者の整理(継続意思確認など)などで計6名減り、25名となった。高齢化も進んでおり、退会者増の要因にもなっている。令和8年度も、新規募集の方法や周知先の工夫、資料館での活動内容やれきみの会の自主企画周知、なとりコイン等を活用したインセンティブ付与等を通じて登録者増に努める。
						現状値(R5)	30 人			
						目標値(R12)	48 人	(進捗率) -11.1%	(進捗率) -27.8%	

○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

分野目標⑤ 生活環境・都市基盤分野

◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未達

※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載
上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)
下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値
※下線: 後期基本計画策定にあたり、目標の見直しがあったもの

【生活環境・都市基盤分野における方向性・目標】

環境保全活動の推進や環境負荷の低減を図ることで、本市の豊かで美しい自然環境や生物多様性の保全に努めるとともに、環境教育や観光・レクリエーション活動など自然環境を活用した取り組みを推進し、自然と調和したまちづくりを推進します。

また、道路や橋梁、上下水道といった社会インフラの整備・長寿命化や公共交通の充実を図り、安全・安心な生活環境の整備を推進するとともに、鉄道や高速道路、仙台空港等の交通網をさらに充実させることで賑わいのあるまちづくりを推進します。

さらに、人口構造の変化等に対応したコンパクトで効率的な都市空間の整備を促進します。

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
66	5-1	自然とふれあえるイベントの参加者数(人)	◎	自然観察会や自然観察イベントへの参加を通して自然環境に興味を持つ市民を捉えることにつながるため指標とした。 目標値で基準値の20%増を目指す。	環境共創課	基準値(H29)	100 人	112 人 (進捗率) 0.0%	164 人 (進捗率) 650.0%	前年に引き続き4件の自然観察会と1件の野外活動事業を実施したほか、新規事業として市内小学生を対象に岩手県での自然体験会を開催した。これらの事業における参加者の合計は164名となり、おおむね好評を得ている。
						現状値(R5)	112 人			
						目標値(R12)	120 人			
67	5-1	自然保護に関する市民の満足度(%)	○	満足度を指標とすることで、自然環境の施策全体での評価が見えるため指標として設定した。 基準値は平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	環境共創課	基準値(H29)	29.1 %	34.8 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	34.8 % (進捗率) 0.0%	野鳥やホタル観察会、五社山自然観察路の整備などを通じて、市民が自然に触れ合う機会を創出し、自然保護に対する意識の醸成を図っている。 また、名取トレイルセンターを活用した各種事業を展開し、周辺の自然環境に親しむ機会を設けている。
						現状値(R5)	34.8 %			
						目標値(R12)	39.8 %			
68	5-2	市関連施設からの温室効果ガス排出量(t)	○	地球温暖化防止の観点から「名取市温室効果ガスの排出の抑制等のための実効計画」において、市関連施設からの温室効果ガス排出量の目標を設定しており、同様に温室効果ガス排出量を目標とする。	環境共創課	基準値(H29)	6,383 t	6,054 t (進捗率) 16.4%	5,778 t (進捗率) 24.3%	猛暑対応に伴うエアコンの稼働や冬季の暖房使用などにより、全体的なエネルギー消費量はほぼ前年並みであった。一方で、エネルギー消費量全体の約60%を占めている電気に関して、温室効果ガス排出量の算出に用いる係数が昨年度より低く抑えられたため、全体としての温室効果ガス排出量は前年度と比較して4.56%減となった。
						現状値(R5)	6,627 t			
						目標値(R12)	3,128 t			
69	5-2	1人1日当たりのごみの排出量(g)	◎	ごみの減量化と資源循環型社会形成の観点から、ごみ排出量の削減目標を設定している。岩沼東部環境センターに搬入されるごみのうち「焼却ごみ」「有害危険ごみ」「粗大ごみ」の合計を人口で除した数値とする。	環境共創課	基準値(H29)	767 g	717 g (進捗率) 77.8%	695 g (進捗率) 322.2%	令和7年度の1人1日当たりのごみの排出量は695gとなり、前年度の717gから22g減少した(3.0%減)。要因としては、令和5年度から開始したプラスチック製容器包装類に加えたプラスチック製品の一括回収によるリサイクルの推進や、物価高騰等に伴う買い控えが続いていることが、ごみ処理全体の搬入量減少につながったものと捉えている。
						現状値(R5)	724 g			
						目標値(R12)	715 g			
70	5-2	家庭用使用済み天ぷら油(植物性廃食油)の回収量(ℓ)	◎	ごみの減量化と資源循環型社会形成の観点から、天ぷら油の回収目標を設定している。回収した油は、BDFに精製し、事業者のトラックやバスの燃料として再利用している。	環境共創課	基準値(H29)	13,383 ℓ	12,364 ℓ (進捗率) 130.7%	13,938 ℓ (進捗率) 263.5%	令和7年度の回収量は、前年度から12%ほど増加した。令和3年度以降、回収実績の減少傾向が続いていた中で、基準値(H29)を上回る程度まで回復した。
						現状値(R5)	10,815 ℓ			
						目標値(R12)	12,000 ℓ			
71	5-3	公害防止などの環境保全に関する市民の満足度(%)	○	数値で表すことが困難な施策内容であることから、満足度を成果指標に設定する。 基準値は、平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	環境共創課	基準値(H29)	29.1 %	34.8 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	34.8 % (進捗率) 0.0%	公害等に関する情報が寄せられた場合は、速やかに現場確認を行い、発生元が判明した場合は、当該発生元に対し注意喚起等を行っている。また、必要に応じて、消防・警察・県等の関係機関と連携を図りながら対応している。あわせて、広報やHP等を通じて公害防止に関する注意情報を発信している。
						現状値(R5)	34.8 %			
						目標値(R12)	39.8 %			

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
72	5-4	中心市街地における居住人口(人)	○	中心市街地の利便性や魅力的な空間を享受できるような居住空間の設定を引き続き第六次長総においても継続する。 田高町西第1、田高町東第1、北町1、北町2、本町1、本町2、北町3、村区の行政区の合計を居住人口と設定した。	都市開発課	基準値(H29)	4,929 人	5,214 人 (進捗率) 13.6%	5,236 人 (進捗率) 20.8%	名取まちづくり株式会社とともに中心市街地の活性化のための施策について検討してきた。令和5年3月に策定した名取駅東地区にぎわい再生計画に基づき、より利便性が高く魅力的な居住空間となるような施策の検討を行う。
						現状値(R5)	5,172 人			
						目標値(R12)	5,480 人			
73	5-4	防災広場を活用したイベントの参加人数(人)	◎	中心市街地の賑わい創出に向けた施策を展開する上での指標として設定する。 なとポップ、ぶちぶちファーム、神社deバザール、地元町内会夏祭り(ふれあい夕涼み)、光のストリートアート展の参加人数を想定している。	都市開発課	基準値(H29)	1,300 人	5,600 人 (進捗率) 700.0%	4,170 人 (進捗率) 480.0%	令和7年度は、例年開催されている「なとポップ」および「オータムフェスティバル」が雨天中止となったことなどにより、参加人数が前年を下回った。今後も参加人数の推移を注視していく。
						現状値(R5)	1,050 人			
						目標値(R12)	1,700 人			
74	5-4	空き家の利活用(戸)【累計】	○	空き家調査の実施により、市としての空き家数を把握し、その利活用数を指標とする。 H27調査における迷惑空き家31戸年間1戸ずつの利活用を目指すもの。	都市計画課	基準値(H29)	— 戸	2 (0) 戸 (進捗率) 0.0%	2 (0) 戸 (進捗率) 0.0%	令和7年度は簡易判定でAランク以上の物件の実態調査を行い、該当者に対する空き家有効活用を促進した。令和8年度は、市で把握済みの空き家物件及び区長・近隣住民から情報提供のあった空き家の全戸調査を実施し、新規の空き家の所有者も含め、利活用の促進を図る予定。
						現状値(R5)	2 戸			
						目標値(R12)	11 戸			
75	5-5	市道改良率(%)	○	狭隘道路解消など生活道路の整備指標として適している。 R元年の道路整備事業費(単独)をベースとして未改良の要望路線の計画期間内での改良延長を算出し改良率に換算した。	土木課	基準値(H29)	81.0 %	85.6 % (進捗率) 5.3%	85.8 % (進捗率) 11.8%	令和7年度は、増田一丁目8号線ほか3路線の道路改良を実施し、前年度比0.2%の増となった。今後も、地域の要望を踏まえ年次計画的に改良を進めて行く。
						現状値(R5)	85.4 %			
						目標値(R12)	88.8 %			
76	5-5	市道舗装率(%)	○	未舗装道路解消など生活道路の整備指標として適している。 未舗装路線のうち、道路改良又は舗装要望路線延長を抽出した。	土木課	基準値(H29)	95.3 %	95.8 % (進捗率) 47.5%	95.9 % (進捗率) 75.0%	令和7年度は、本郷薬師堂線、中荷1号線、大曲廻戸線の舗装工事を実施し、前年度比0.1%の増となった。今後も地域の要望を踏まえ、年次計画的に進めて行く。
						現状値(R5)	95.6 %			
						目標値(R12)	96.0 %			
77	5-5	都市計画道路の整備率(%)	▲	幹線道路の整備指標として適している。 事業決定済み路線に加え、愛島東部線、館腰駅箱塚線を全線改良したときの整備率として算出した。	土木課	基準値(H29)	87.4 %	92.7 % (進捗率) 0.0%	85.5 % (進捗率) -378.9%	令和7年度は、名取中央スマートインター線ほか2路線の測量詳細設計及び愛島東部線の概略設計に着手した。令和8年度は、新たに大手町川上線の測量詳細設計に着手するなど、着実に整備を進めて行く。 ※R7.6 名取中央スマートインター線ほか2路線、大手町川上線ほか1路線の新規都市計画決定(6.54km)→R7末の新規路線を除いた整備率は92.7%
						現状値(R5)	92.7 %			
						目標値(R12)	94.6 %			
78	5-5	歩道のバリアフリー整備延長(m)【累計】	○	歩道拡幅事業として、名取が丘中央大通り線と植松田高線の整備延長が整備指標として適している。 補助事業の年度毎実績及び将来伸び率を加えて算出した。	土木課	基準値(H29)	3,800 m	4,410 (0) m (進捗率) 0.0%	4,510 (100) m (進捗率) 7.0%	令和7年度は、名取が丘中央大通り線において、延長100mのバリアフリー化工事を実施した。令和8年度以降についても引き続き、名取が丘中央大通り線の整備を進めて行く。
						現状値(R5)	4,410 m			
						目標値(R12)	5,840 m			
79	5-5	市が主体となって実施する新たな公共交通に関する市民満足度(%)	○	指標として、市民意識調査の「公共バスの充実」に関する満足度を設定している(「満足している」「どちらかといえば満足している」の合算)。令和5年度に実施した市民意識調査の結果から5%の向上を目指す。	政策企画課 防災安全課	基準値(H29)	14.0 %	23.0 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	23.0 % (進捗率) 0.0%	「なとりん号」においては、ダイヤ改正による慢性的な遅延の解消、バス位置情報サービスの活用等に取り組んでいる。「なとりんくる」においては、指定乗降場所の新設・移設や、令和8年度より予約状況の「見える化」の運用を開始した。引き続き、利便性向上に努め、利用促進に励む。
						現状値(R5)	23.0 %			
						目標値(R12)	28.0 %			
80	5-5	市が主体となって実施する新たな公共交通の利用者数(人)	◎	基準値は、平成29年度なとりん号の乗車人数としている。目標値は、なとりん号と新たな公共交通の利用者をカウント。	政策企画課	基準値(H29)	401,649 人	580,493 人 (進捗率) 162.0%	614,597 人 (進捗率) 234.0%	令和8年度からなとりんくるの予約状況を可視化できる「見える化」の運用を開始した。それに伴い、稼働率等の変化を分析する。なとりん号については、今後、各路線の乗車率等を調査、分析し、バスの減便について検討する。
						現状値(R5)	503,745 人			
						目標値(R12)	551,116 人			

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗管理		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
								R6	R7	
81	5-6	仙台空港施設見学の名取市関係団体利用者数(人)	▲	空港が市民に親しまれる施設となるよう、仙台空港㈱が開催するイベント情報を市民への周知を行う施策を展開していくことから、指標として設定した。	都市開発課	基準値(H29)	619 人	125 人 (進捗率) -123.1%	135 人 (進捗率) -107.7%	令和7年度は、市・仙台国際空港(株)(SIAC)主催の施設見学会を2回、下増田空対協・公民館主催の施設見学会を1回、政策企画課主催のチャーターフライトを実施。今後更に地域共生事業を推進するよう、見学会の回数増に向け、仙台国際空港(株)と連携し、取り組む。
						現状値(R5)	205 人			
						目標値(R12)	270 人			
82	5-6	空港支援機能施設の誘致数(件)	▲	空港が市民に親しまれる施設となるよう、仙台空港㈱が開催するイベント情報を市民への周知を行う施策を展開していくことから、指標として設定した。	都市開発課	基準値(H29)	— 件	0 件 (進捗率) -33.3%	0 件 (進捗率) -33.3%	令和2年度に「仙台空港の運用時間24時間化に関する覚書」を締結していることから、対象地区への空港支援機能施設の誘致について、地元と連携しながら宮城県へ働きかけを行っていく。
						現状値(R5)	1 件			
						目標値(R12)	4 件			
83	5-7	上水道管路の更新率(%)	○	管路全延長:487,464m R6までの耐震管路更新延長:150,421m 残非耐震管路延長:337,043m 年耐震管更新延長:年間2,460m ※1-2災害に強い防災基盤の整備と同様の指標。	水道事業所	基準値(H29)	22.7 %	30.8 % (進捗率) 25.6%	31.3 % (進捗率) 38.5%	災害に強い水道の実現と安全・安心で良質な水の安定供給に向けて、計画的に管路更新を実施してきた。その結果、令和7年度末の全管路耐震率は31.3%となった。引き続き更新計画に基づき管路の耐震化を進める。
						現状値(R5)	29.8 %			
						目標値(R12)	33.7 %			
84	5-7	下水道の水洗化率(%)	○	行政人口における水洗化(公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽)人口の割合を示す。 令和元年7月末時点 行政人口:78,971人 水洗化人口:76,336人	下水道課	基準値(H29)	96.7 %	98.0 % (進捗率) 9.1%	98.1 % (進捗率) 18.2%	下水道未接続世帯に対し、早期接続の勧奨を引き続きしていく。合併処理浄化槽の地区においては、汲み取り式便所や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替を勧奨し、水洗化を図る。令和7年度において上記の取組の結果、数値が改善した。
						現状値(R5)	97.9 %			
						目標値(R12)	99.0 %			
85	5-8	公園・緑地の整備に関する市民の満足度(%)	○	地域住民のニーズに応じた公園づくりに対応するため。 基準値は、平成30(2018)年に実施した市民意識調査の結果とする。	都市計画課	基準値(H29)	34.2 %	44.1 % R6、R7は調査実施せず	44.1 %	公園施設及び緑地利用者の安心・安全な環境を保持するため、地区毎に必要な日常的な保全管理を行っており、市民の満足度が向上するよう継続して取り組む。
						現状値(R5)	44.1 %			
						目標値(R12)	49.1 %	(進捗率) 0.0%	(進捗率) 0.0%	

○名取市第六次長期総合計画の進捗状況について

分野目標⑥ 地域経営・行財政運営分野

◎・・・目標値達成 ○・・・現状値以上 ▲・・・現状値未滿

※指標名が【累計】の場合...2段書きで記載
上段 : 当該年度までの延べ実績値(目標値が延べ実績値)
下段()書き: 当該年度(単年度)の実績値
※下線: 後期基本計画策定にあたり、目標の見直しがあったもの

【地域経営・行財政運営分野における方向性・目標】

若者や子育て世帯等にとって魅力的な環境の整備と効果的なシティプロモーションにより移住・定住を促進し、持続可能で活力のあるまちづくりを推進します。

また、コミュニティ活動の活性化を図りつつ、地域課題を共有しながら、市民協働によるまちづくりを推進するとともに、各分野における女性の参画の拡大等による男女共同参画意識の醸成に取り組み、多様な交流機会の創出や交流活動の促進を図り、多様性を認め合う共生社会の形成を目指します。

さらに、効率的・効果的な事務事業の実施や創意工夫による財源の確保、職員の資質・能力向上を図りつつ、まちづくりの方向性に合致した戦略的な投資を行うなど、限られた資源を有効活用した効果的な施策の推進を図ります。

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		R6	R7	進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)
86	6-1	ホームページアクセス件数 (件/日)	◎	市政に関する関心度とホームページアクセス件数は相関関係にあることから第五次長総に引き続き指標とするもの。直近において、年間150万件のアクセスを180万件程度に増加させる。 目標値: 1,800,000件/365日≒4,900件	なとりの魅力 創生課	基準値(H29)	2,800 件/日	4,712 件/日 (進捗率) 73.3%	5,919 件/日 (進捗率) 244.7%	令和6年度末よりホームページをリニューアルし、利用者目線に立ったものになるよう、他自治体の動向やトレンドを注視しながら、業者と打ち合わせを行い、イベントカウントダウンやトピックス掲載など、旧ホームページにはなかったスライド機能を活用し、利用者に興味を持ってもらうようなホームページの作成に努めた。
						現状値(R5)	4,196 件/日			
						目標値(R12)	4,900 件/日			
87	6-1	SNSフォロワー数(件)	○	SNSを通じて本市のイベント等の情報発信をする上で、フォロワー数を指標として設定。 仙台市を除く県内12市の平均4,500件を指標に設定。	なとりの魅力 創生課	基準値(H29)	450 件	2,755 件 (進捗率) 23.7%	3,282 件 (進捗率) 46.7%	Facebookは昨年に引き続き各部署にフェイスブックリーダーを配置し、積極的な情報発信を行った。 Instagramは名取市の魅力発信に沿った情報の掲載に努めた。
						現状値(R5)	2,213 件			
						目標値(R12)	4,500 件			
88	6-1	移住支援金支給世帯数(世帯)【累計】	○	移住支援金の支給世帯数は把握可能であるため。 現状値から1年当たり24世帯支給を見込み目標値を設定。	なとりの魅力 創生課	基準値(H29)	— 世帯	47 世帯 (19) 世帯 (進捗率) 11.3%	56 世帯 (9) 世帯 (進捗率) 16.7%	令和7年度も引き続きオンラインを活用した移住相談会や移住イベントへの参加を行ったほか、2市2町や千葉県成田市と合同移住イベントを開催し、広域連携した移住促進を図った。
						現状値(R5)	28 世帯			
						目標値(R12)	196 世帯			
89	6-2	市民公益活動団体数(団体)	▲	団体数の増加は、市民の市民活動への参加意欲のほか、市民活動の広がりが把握できるため。	市民協働課	基準値(H29)	103 団体	108 団体 (進捗率) 7.7%	106 団体 (進捗率) -7.7%	令和7年度の新規団体登録は4団体(NPO法人0、その他法人1、任意団体3)であり、登録解除が6団体(NPO団体0、その他法人0、任意団体6)となっているため、前年度と比較して2団体の減少。今後も市民活動支援センターを通じ、継続して積極的な市民活動を促進する。
						現状値(R5)	107 団体			
						目標値(R12)	120 団体			
90	6-2	市内のNPO法人数(法人)	▲	法人数の増加は、市民の市民活動への参加意欲のほか、市民活動の広がりが把握できるため。	市民協働課	基準値(H29)	17 法人	17 法人 (進捗率) -200.0%	17 法人 (進捗率) -200.0%	令和7年度の新規NPO法人登録は0団体。登録解除0団体のため、前年度と差異なし。今後も市民活動支援センターを通じ、継続して積極的な市民活動を促進する。
						現状値(R5)	19 法人			
						目標値(R12)	20 法人			
91	6-2	市民活動支援センター利用者数(人)	▲	利用者数を指標とすることにより市民活動の広がりが把握できるため。	市民協働課	基準値(H29)	18,089 人	11,962 人 (進捗率) -12.8%	12,000 人 (進捗率) -9.0%	令和6年度は、WEB会議などが浸透してきたこともあり減少したが、令和7年度は新規団体登録もあり、38人の増加となった。今後も市民活動支援センターを通じ、継続して積極的な市民活動を促進する。
						現状値(R5)	12,091 人			
						目標値(R12)	13,100 人			

NO.	分野	指標名	達成状況 (進捗率)	指標設定の考え方	担当課	成果指標		進捗状況及び今後の取組方針について (令和7年度末の状況)		
						R6	R7			
92	6-2	市民協働提案事業実施数 (件)	▲	第五次長総においては、市民協働提案事業の実績の延数としていたが、第六次長総においては、単年度の実施数とする。	市民協働課	基準値(H29)	4 件	9 件 (進捗率) 75.0%	8 件 (進捗率) 66.7%	令和7年度実績は担い手育成型(入門)1団体、市民提案型1団体、行政提案型1団体、学生提案型5団体だった。今後も公民館や市民活動支援センターと連携し、団体発掘を継続していく。
						現状値(R5)	12 件			
						目標値(R12)	12 件			
93	6-2	こどもファンド事業応募者数 (件)	○	応募団体数は、子ども達がまちづくりの楽しさ、大切さを学ぶことへの意識の高まりと、実際にまちづくり活動に携わる機会の創出を把握することができるため。	市民協働課	基準値(H29)	— 件	7 件 (進捗率) -33.3%	13 件 (進捗率) 66.7%	13団体分の予算枠において、応募が13団体であった。審査の結果、13団体が採択となり事業実施した。今後も事業の周知を行い、より多くの子ども達がまちづくりの楽しさを学べるよう取り組む。
						現状値(R5)	9 件			
						目標値(R12)	15 件			
94	6-3	市内在住外国人の満足度 (%)	○	令和5年度に実施した、市内在住外国人および市内に通学・通勤する外国人を対象としたアンケートの結果から5%向上させることを目標とする。	なとりの魅力 創生課	基準値(H29)	48.6 %	43.2 % R6、R7は調査実施せず (進捗率) 0.0%	43.2 % (進捗率) 0.0%	令和7年度においては外国人アンケートを実施していないため、前回数値と同様となった。
						現状値(R5)	43.2 %			
						目標値(R12)	48.2 %			
95	6-4	市の審議会等委員における 女性の登用率(%)	○	男女共同参画計画にも指標として設定していることから継続して設定する。全国的にも調査指標となっている。	市民協働課	基準値(H29)	28.9 %	31.4 % (進捗率) 32.1%	33.9 % (進捗率) 79.2%	あて職による委員登用は別として、各部署で女性委員登用促進を意識し取り組んでいる。第三次名取市男女共同参画計画の進捗管理の中で、今後も各部署への啓発を継続して行う。
						現状値(R5)	29.7 %			
						目標値(R12)	35.0 %			
96	6-5	先進的なサービスの社会実験・実証実験の実施数(件) 【累計】	○	民間事業者が実施する先進的なサービスの社会実験・実証実験を積極的に受け入れるため指標に設定。前期計画期間に引き続き、後期計画期間でも3件の実施を目指す。	政策企画課	基準値(H29)	— 件	3 (0) 件 (進捗率) 0.0%	3 (0) 件 (進捗率) 0.0%	引き続き行政の効率化、市民の利便性向上に向け、民間事業者が所有するノウハウやデジタル技術を活用した先進的な取組みの導入を目指す。
						現状値(R5)	3 件			
						目標値(R12)	6 件			
97	6-6	広告掲載や施設命名権による歳入額(千円)【累計】	○	歳入額を指標とする。現状実施しているバナー広告や封筒作成等の効果額:1年あたり約2,800千円 ・11年後の効果額 54,833千円 ・新規項目による効果額 10,000千円見込み 54,833千円+10,000千円≒目標値65,000千円	政策企画課	基準値(H29)	24,033 千円	44,007 千円 (2,704) 千円 (進捗率) 11.4%	46,821 千円 (2,814) 千円 (進捗率) 23.3%	市ホームページにおけるバナー広告や封筒作成等に取り組んでおり、今後も継続していく。また、新たな財源確保の取組みとして、令和8年4月1日より文化会館で施設命名権(ネーミングライツ)導入した。今後は、他公共施設でも導入を検討する。
						現状値(R5)	41,303 千円			
						目標値(R12)	65,000 千円			